

令和元年から殿堂入り企業



あいおいニッセイ同和損害保険

MS&AD INSURANCE GROUP

東京都
スポーツ推進殿堂入り企業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



東京 2020 大会に所属選手 7 名が出場！

東京 2020 大会に所属選手 7 名が出場し、社員一丸となって所属選手の応援を行った。

無観客開催のため、オンライン配信やテレビでの応援、オンラインでの交流会、全国の拠点での写真展の巡回等様々な取組で選手の活躍にエールを送った。

【出場選手】秋田啓（車いすバスケ）、柳本あまね（車いすバスケ）、白砂匠康（陸上）、小野智華子（競泳）、中島啓智（競泳）、宮崎哲（競泳）、加藤耕也（卓球）



全力応援宣言

所属競泳選手によるパラ水泳選手への練習指導を実施！



所属アスリートによる東京 2020 大会出場選手への強化指導を実施。

リオ・オリンピック競泳日本代表の青木智美選手が全員の小野智華子選手を、競泳世界選手権に出場した小林奈央選手が知的障害の宮崎哲選手をコーチした。それぞれの選手の特性に合わせ、互いの意見を尊重しながら合宿形式での指導を実施し、選手同士で刺激し合えるオリ・パラ交流の機会となった。

企業情報はこちら

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP



業種：損害保険業 約16,100人

MEMO

令和3年度の取組内容

- 東京2020パラリンピックに所属選手7名が出場！
全国の全拠点でムーブメントづくり
- 社内オンライン壮行会、応援、報告会を開催。
- 応援グッズの製作
(ポスター・記念品・Tシャツ・サイン用パネル)
- 全国9ヶ所で開催写真展
- 所属競泳選手によるパラ水泳選手への指導
- 所属選手による全国自治体での地域貢献活動
～講演会・体験会・小学校体験授業の講師～
(開催実績：2021年度 141回)
- 北海道オールオリンピアンズと連携協定を締結。
- 上智大学でのパラスポーツ連携講座
- 川内優輝選手と協働で行う全国行脚プロジェクト「マラソンキャラバン」も再開。
講演・ランニング交流会等で工夫して実施。

企業データ

所在地 渋谷区 業種 損害保険業 総従業員数 約16,100名

With コロナの取組

所属アスリートとの交流会をオンラインにて開催！

本社にて所属アスリートとの交流会を対面とオンラインのハイブリット形式で開催。
全国の社員約 260 名より応援メッセージ、激励の言葉や質問が多数寄せられ、コロナ禍においても社員とアスリートが交流する好機となった。
また、所属アスリートの写真展を全国 8 力所の拠点で巡回実施した



所属選手出場試合をテレビやオンラインで応援！



東京 2020 大会では、所属選手が出場する試合を日本国内の拠点のみならず、海外現地法人の拠点でもテレビ観戦やオンライン配信にて応援を行った。
イントラ社内報では選手応援の特設ページを開設。所属選手が出場する試合のスケジュールや見どころ等を案内し、社内応援の機運醸成を図った。
コロナ禍により少人数単位、短時間、スティックパルーン活用など、国内外の全拠点で工夫しながら応援が行われた。

その他の取組

①北海道オール・オリンピアンズと包括連携協定を締結！

当社と北海道オール・オリンピアンズは、スポーツを通じた社会への貢献・教育への貢献、北海道におけるスポーツ振興への貢献など共通の理念を有しており、その具現化に向け、協定を締結。



②所属アスリートによる地域貢献活動を継続して全国展開！

コロナ禍においても所属アスリートによる講演会・体験会等、東京都をはじめ全国各地で継続して実施 (2021年度 144回実施)。



③アスリート報奨金制度を創設！

所属選手のモチベーションの維持・向上に向け、競技成績に応じた報奨金制度を創設。

STAFF'S VOICE

当社の活動は、スポーツメセナとコーポレートスポーツの融合型として「オンリーワンのスポーツ支援のスタイル」と評されています。これはSDGsと運動した持続可能性を追求した取組を展覧している証左かもしれません。アスリートが主役であることを肝に銘じ、アスリートの活動に関わるあらゆる領域を支えるべく「本気」で取り組んでいます。



◆取組を始めたきっかけ

保険会社として、交通事故で車いす生活になった方々への社会復帰を応援したいという思いから2006年に日本車いすバスケットボール日本代表のスポンサーを開始しました。

2014年、東京オリ・パラを契機にプロジェクトチームを組成。

同年、日本パラスポーツ協会のオフィシャルパートナーを締結。パラスポーツ支援を中心としたスポーツ振興を取組みの柱としてスタートしました。

◆運用上の特徴や工夫

●当社は所属アスリートの活動を軸に取組みを展開しています。

2015年、アスリート雇用制度を創設。2022年10月現在、21名のアスリート（内パラアスリート13名）が在籍しています。

「デュアルキャリア」「地域で頑張る選手」「引退後も継続雇用」を基本方針として運用しています。

●アスリートが活躍できる環境づくり（競技面・業務面）の構築を常に意識しています。

●全国の社員は、所属アスリートが出場する大会での応援活動や大会運営ボランティア等に参加し、全国で応援の輪を広げています。

●所属アスリートは、当社の行動指針である「地域密着」の具現化に向け、自治体と連携したイベントや学校での体験授業を全国で行っています。（2021年度・141回）

◆効果やメリット

●大会応援等による社内の一体感醸成

●アスリートを中心とした地域貢献活動を通じて誰しものが活躍でき、活力ある地域社会の発展に貢献地域での応援の輪が広がり、地域と弊社がWin-Win の関係

●ダイバーシティ・高齢化等の社会課題の解決に対峙

●とりわけ、パラアスリートが身近にいることで、会社全体として共生社会や多様性への理解が向上

●地域貢献活動を通じて、所属アスリートの能力開発が進展